

立花エレテック

新社長に布山常務

渡邊社長は会長に

6月29日付



立花エレテック(本社)は、5月12日開催の取締役会において、2022年3月31日までの連結決算を発表した。

技術商社の立花エレテックは5月12日、2022年3月31日(21年4月1日)までの22年3月31日までの連結決算を発表した。

国内外子会社の業績が大躍進 連結で単体上回る売上高伸長

立花エレテック 決算発表



社長としての22年間を「仕事に打ち込み、頑張ることができ、満足している」と振り返った渡邊社長

技術商社の立花エレテックは5月12日、2022年3月31日(21年4月1日)までの22年3月31日までの連結決算を発表した。

00万円(前年度比19.8%増)、営業利益67億7千万円(同66.4%増)、経常利益74億1200万円(同68.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益51億4400万円(同48.8%増)。

また、前年度後半から高水準な需要が継続している半導体デバイス事業は、売上高71億5990万円(前年度比31.7%増)、営業利益25億1千万円(同189.2%増)。

人事

アラカキ

立花エレテック 役員人事

1. 取締役(監査等委員である取締役を除く)の候補者(2022年6月29日開催予定の第93回定時株主総会に付議

2. 監査等委員である取締役の候補者(同株主総会に付議予定)▽松橋澄取締役常勤監査等委員(常勤監査役)▽大谷康弘 社外取締役 監査等委員(社外監査役)▽塩路広海 社外取締役 監査等委員(社外監査役)▽大谷康弘(社外監査役)※大谷康弘、塩路広海の両氏は、東京証券取引所の定めに基づき独立役員候補者。

3. 補欠の監査等委員である取締役の候補者(同株主総会に付議予定)▽木田稔 補欠社外取締役 監査等委員(補欠社外監査役)▽欠社外監査役。

4. 退任予定取締役(同株主総会終結の時をもって任期満了により退任予定)▽山口均(取締役専務執行役員 F A)

システム事業本部長、本社拠点担当)▽生田誠(社外取締役)※山口均氏は2022年6月29日付で相談役に就任予定。

5. 執行役員の異動(2022年6月29日付)▽米田浩 常務執行役員 東京支社長 兼 東京管理部長、東京支社拠点担当(執行役員 東京支社副支社長 兼 施設事業担当)

当、施設戦略室長)▽多田満 執行役員 施設事業担当 兼 施設戦略室長(執行役員 施設統括本部長)▽南本隆史 執行役員 F A システム事業本部長 兼 F A システム事業部長、F A システム本部長(執行役員 F A システム戦略事業部長 兼 F A システム本部長)。

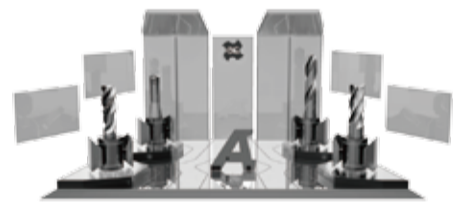
システム事業本部長、本社拠点担当)▽生田誠(社外取締役)※山口均氏は2022年6月29日付で相談役に就任予定。

5. 執行役員の異動(2022年6月29日付)▽米田浩 常務執行役員 東京支社長 兼 東京管理部長、東京支社拠点担当(執行役員 東京支社副支社長 兼 施設事業担当)

当、施設戦略室長)▽多田満 執行役員 施設事業担当 兼 施設戦略室長(執行役員 施設統括本部長)▽南本隆史 執行役員 F A システム事業本部長 兼 F A システム事業部長、F A システム本部長(執行役員 F A システム戦略事業部長 兼 F A システム本部長)。

当、施設戦略室長)▽多田満 執行役員 施設事業担当 兼 施設戦略室長(執行役員 施設統括本部長)▽南本隆史 執行役員 F A システム事業本部長 兼 F A システム事業部長、F A システム本部長(執行役員 F A システム戦略事業部長 兼 F A システム本部長)。

OSG WEBSHOWROOM



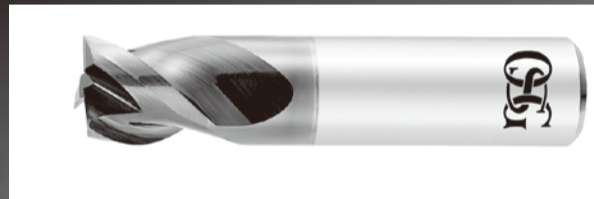
無料 WEB セミナー開催中!

https://www.osg.co.jp

アクセスはこちら



超硬防振型エンドミル AE-VTSS 自動旋盤 対応型誕生



New

高硬度鋼用超硬エンドミル AE-CPR4-H



New

ロングネックラジアスタイプ登場!

非鉄用 DLC 超硬エンドミル AE-VTFE-N

立ち壁対応型 追加!



New

A

The A Brand

オーエスジー株式会社

ものづくり伝承

「ライナーノーツ」

ツーリングコンシェルジュ・清水浩の『工具需要の視点』特別編 ⑱



『SOソケット』など時代とともに追求されてきた 切削工具とマシンのインターフェース

今回は専用機にBTホルダのATCが装着され東南アジアの自動車メーカーに輸出されたことを述べました。その後、これまでのBT、NTの一面当たり【※スケッチB】ではなく、欧州で開発された1/10テーパかつBTとは異なり、短尺の二面拘束【※スケッチC】が開発されて以降、すでに数十年の実績があります。私も本案を採用して多くのツーリング設定を行い、それらは現在も稼働しています。

この二面拘束はメーカーの違いによる2種類が存在していますが、自身が携わった事例としてはφ150以上のフライスカッタをHSK63に取り付けました。挿入基準径(φ48)とカッタ外径の差が大きく実にアンバランスですが、切削速度は1,000mの比較的高速回転にも関わらず現場から不具合を聞いたことがありません。HSKは小型形状ですが、斜面と端面を圧着させて剛性を高めた良い技術だと感じました。

さらに最近、機械メーカーとタイアップしたBTテーパながら二面拘束ホルダ【※スケッチD】の採用が検討されています。このユーザーは工作機械の部品メーカーですが、HSK【※スケッチC】ではなく、さらに剛性が高いと判断

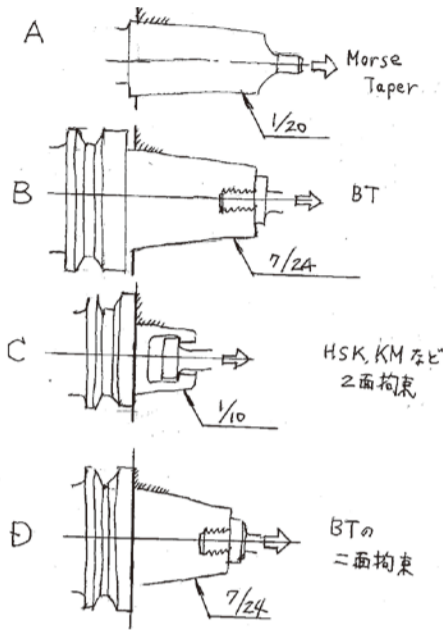
しての採用だと推測します。この存在は以前から承知していましたが、いよいよ具体的に採用されるとのことで、興味を持ってフォローしたいと思います。

約50年間ツーリングに関わる中で、切削工具とマシンのインターフェースの種類はモルステーパーに始まり、NT、BT、HSK、KM、キャプト、BIG-PLUS、SOソケット(多軸専用機用クイックチェンジソケットで採用後約50年を経過した小生の実用新案)など、時代とともに工具の刃先精度向上と剛性アップを追求して今日に

一時期、BTのATC工具ホルダの落下が散発し、工具ホルダ全体の重量や重心位置に対して設備メーカーから問題提起され苦勞したことがありました。原因は機械メーカーによるATCの技術力にあったのですが、今日の若手技術者に対して参考になればと思い記述しておきます。

(続く)

〈清水浩〉



サンドビック

本社とコロマント・カンパニー本部を統一、名古屋駅近くに移転

一層の市場機会獲得へ「利便性向上、新しく近代的で環境に優しい施設」に入居

サンドビックは、神戸市中央区磯上通に置く本社と名古屋市中東区上社に置くサンドビック・コロマント・カンパニー本部

を2022年8月1日付でサンドビック・コロマント・カンパニー本部と統合し、より便利で顧客に近い名古屋駅近くに移転する。より一層の市場機会を獲得することも、顧客サービスを改善

今年8月1日から

し、ブランドの認知度を向上させるため、新しく近代的で環境に優しい施設に移転し、今年8月1日(月)より新本社での業務開始を予定する。これにより、イノベーションと技術をリードする



柳川会長

大阪上町機工会 定時総会開催

講演「ICTで変わるポストコロナ時代の製造業」を聴講

大阪上町機工会は4月18日、大阪市中央区のKKRホテル大阪を会場に定時総会(2021年度・第71期)を開催した。あいさつで柳川重昌会長(Cominex社長)は、ロシア・ウクライナ情勢を引き合いに、いくらか良い

政治をしていても、戦争に負ければ終わり。会社もいくらか良い経営をしていても潰れてしまえばお終いだ。現状維持は後退なりという言葉もあるように様々な意味で考

計監査報告、22年度(第72期)事業計画案などが審議、承認された。第二部では、ICTジャーナリストでITコンサルタンの林信行氏による「ICTで変わるポストコロナ時代の製造業」と題した講演会が行われた。

OKK 機構改革 日本電産グループ各社と部門名称を統一

OKK(本社)兵庫県伊丹市、森本佳秀社長は、経営戦略の強化および日本電産グループ各社と部門名称を合わせることで統一感を持たせるため、4月1日付で次の機構改革を実施した。

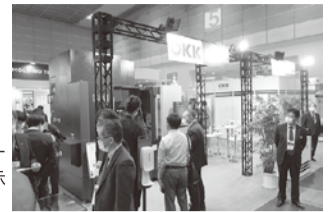
Advertisement for Tachibana Eletech featuring IoT/M2M technology and manufacturing productivity improvement. Includes company logo, contact info, and a list of services.



◀発売に先行しての展示商品も見られたダイジェット工業ブース

大阪 INTERMOLD に 2 万 4 千人来場

— 続いて 7 月 6 ~ 9 日には名古屋で開催



▶日本電産マシントール製品のカタログ展示もあった OKK ブース

「INTERMOLD2022」が 4 月 20 ~ 23 日、大阪では 4 年ぶりに開催され、インテックス大阪には 4 日間で 23,875 人が来場した。

ダイジェット工業のブースでは、5 月 9 日の発売に先立ち高エネルギー加工用工具『ヘプタミル』用ワイパーインサートの追加が先行展示され、また日本電産の連結子会社となって以降初の同展に臨

んだ OKK のブースでは、グループ会社となった日本電産マシントール（旧三菱重工工作機械）製品群のカタログ等も設置される光景が見られた。

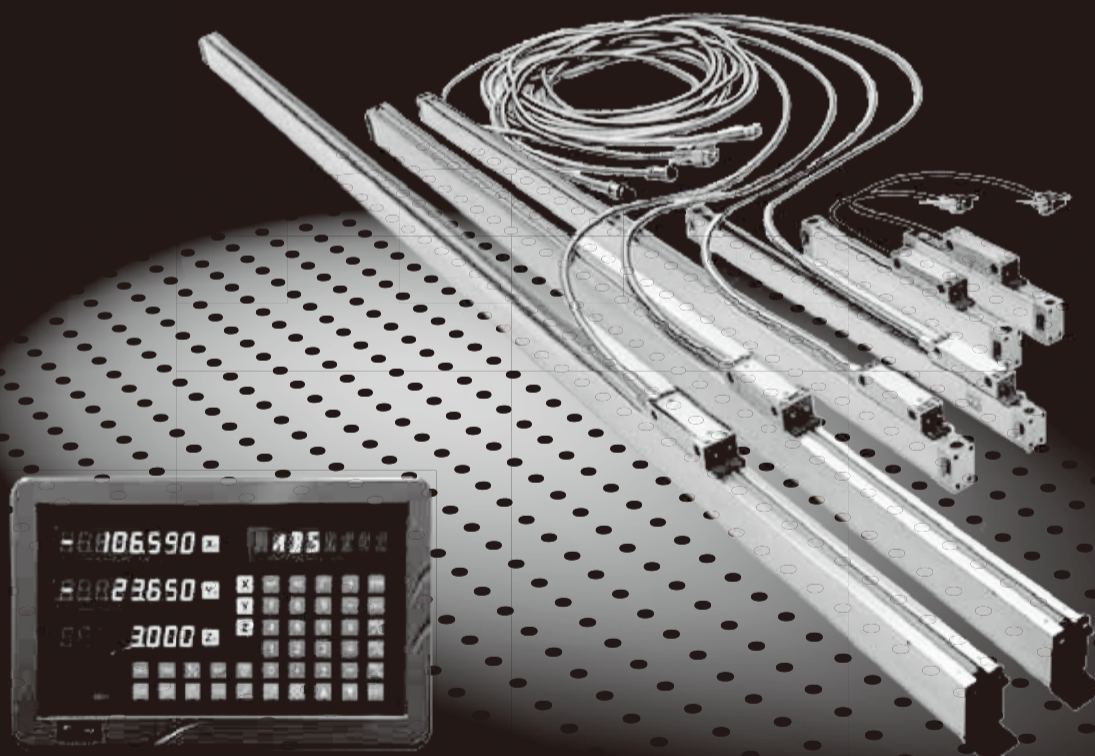
なお同展は引き続き 7 月 6 日（水）～ 9 日（土）の 4 日間、名古屋（ポートメッセなごや）にて開催される。

Sinpo 新天光電

確かな品質
安心の保証

Digital Optical Scale Digital Read Out

汎用フライス、汎用旋盤、研磨機、ボール盤など汎用機全般に取り付け可能！！



デジタル リードアウト

デジタル 光学式 スケール

SINPO 社 日本総代理店

EIGA

栄華商事株式会社

《東京本社》

〒 110-0003 東京都台東区根岸 5-13-10 栄華ビル

TEL:03-6802-3837 FAX:03-6802-3679

E-mail:info@eigashoji.com

《本庄・児玉マシンセンター》

〒 367-0243 埼玉県児玉郡神川町熊野堂 155

TEL・FAX:0495-71-7667

花巻スペースプロジェクト 『UP花巻』がスタート



「UP花巻」プロジェクト参加者による意気込み発表のワンシーン

花巻北高校の生徒が参加、2年間の衛星開発プログラムを展開

「日本一、宇宙に近い高校生へ」(佐々木生徒会長)

宇宙をテーマに花巻を盛り上げるため誕生したSPACE VALUE(岩手県花巻市)と、宇宙産業における総合的なサービスを展開するSpace BD(東京都中央区)は、地元根付く「宇宙」をテーマに、花巻全体を盛り上げていくことを目指す『花巻スペースプロジェクト UP花巻』を開始した。

宇宙需要の研究

このプロジェクトの全体像や詳細について3月15日、ホテルグランシェール花巻を会場に説明会が開催され、Space BDの永崎利社長、SPACE VALUEの安藤修一代表らが登壇した。「銀河鉄道の夜」作者、宮沢賢治生誕の地・花巻市に由来するUP花巻は、2024年の人工衛星打上げを主軸に、衛星の開発から運用を実施する「衛星開発プログラム」と、宇宙を題材に花巻を支える地場産業に新たな価値を創出することを目的とした「地場産業プログラム」の2つの取り組みを通じて、花巻の魅力を活用し、海外へ発信し花巻を盛り上げる。

世界初、AI創薬と宇宙実験の連携

インターヘルスケア(本社=東京都中央区、仁司与志矢社長)とSpace BDは、各社がサービス提供している新薬創出のためのAI創薬プラットフォーム「Deep Quartet」(ディープカルテット)と、宇宙特有の微小重力環境を活用した「高品質タンパク質結晶構造解析サービス」を連携させた共同研究を開始する。

宇宙エンタメ事業共創 「スペースアート」を宇宙空間に曝露

SPACETAINTMENT PTE. LTD(本社=シンガポール、榊原華帆社長)とSpace BDは、SPACETAINTMENTが取り組む宇宙エンターテインメント事業に関して、国内外でのビジネス開発における共創の覚書きを締結した。

佐賀県 防災対策DXに対する衛星データ活用の実現性検証

佐賀県では今後、県内エリアにおける土砂災害リスクの特定等、優先課題に対する衛星データ活用の実現性検証の取り組みに向けて検討中、Space BDは、佐賀県の防災・保全業務全般のヒアリングと課題整理を行い、衛星データを活用したDXに関する2022年度の導入検討に向けた計画を策定し提出した。

9周年迎えたアストロスケール 『ELSA・d』が高難度の誘導接近実証に成功

持続可能な宇宙環境を目指すための捕獲機を備えたサービサーと、デブリ化した衛星を模したクライアントで構成されており、昨年3月にカザフスタンのバイコヌール基地より高度550kmの軌道へ両衛星を固定した状態で打ち上げ、軌道投入された。

Space BDでは引き続き、日本各地で起こる自然災害を予測し被害の減少につながるよう衛星データを活用した防災対策DXに向けた支援を推進していく。

『ユーザー通信』6月号【次号予告】

- 三菱マテリアル DIAEDGE特約店会、新製品リリース
- サンドビック 新製品リリース
- ダイジェット工業 決算説明会、新製品リリース
- 山善 親交会

産業・工業・機械 基板用硝子

耐熱用硝子 電子用硝子 石英硝子

光学研磨硝子 パイレックス バイコール

平岡特殊硝子製作株式会社

〒550-0013 大阪市西区新町4-7-8 TEL. 06-6531-2505 FAX. 06-6538-2225



4
+
7

ソリッド丸棒に
ハイペリオン社製4材種が
加わり、AFC社の7種と合わせ
11材種になりました



超硬合金丸棒のことなら、

AFCジャパン株式会社

03-5692-6600

www.afcarbide.jp

service@afcarbide.jp

JIMTOF2022から 受注開始の新機種を先行紹介

岡本工作機械製作所(代理店)「2021年度(本社)群馬県安中市」PSG会支部連絡会を4月18~20日にかけて、開催した。中部(名古屋)・西部(大阪)・東部(東京)の順に、だったが、まん延防止等

重点措置期間に重なり延期、西部支部連絡会は4月19日に吹田市の新大阪江坂東急REIホテルを会場に行われた。同社は2016年より「Mission GX」より「SINKA2022」つ

の中期経営計画をこの3月に終了、売上高380億円(営業利益率12%)を目標としていたが、結果は米中貿易摩擦、コロナ禍という逆風の中、連結売上高は07年度を超え過去最高を達成でき

る見込みとなった(※その後5月12日に決算発表表)375億4700万円。連結会では、参加代理店各社の最新技術動向の紹介、勉強会「超精密平面研削盤の活用について」OKAMOTOの最先端成形研削技術、「研削加工におけるEVターゲット情報」をメインに、「脆性材加工への新たな試み」としてJIMTOF2022から受注開始となる製品が先行紹介されるなど、総じて「EV化の中で研削加工の役割が強調された。」

そして、毎回そのプレゼンス内容の高さ否が応でも期待が高まる伊藤藤常務技術開発部長による特別講演では「今回、日本の伝統技術を活かして、半導体産業で日本企業が開発を率先していく等」

指針を示しあいさつした。渡邊哲行常務(営業本部長)は、コロナ禍の2年間で仕事の取り組み方が様々な意味で変わってきたことに加え、「デジタル技術やWebツールを当初は使い辛いと思っていましたが、使いこなせてきた」と思う。展示会も昨年後半からリアル開催も再開され、今後はデジタルとリアルによるハイブリッドの使い分けで仕事を進めていくのだと思う旨あいさつした。

岡本工作機械 2年ぶりに開催 「PSG会支部連絡会」

最新技術動向を紹介 「EV化の中で研削盤の役割」を強調



大阪・江坂での西部支部連絡会のようす(石井社長あいさつ)

受注割合で半導体製造装置が工作機械超え

「研削で価値を創造するソリューション企業へ」

研削ノウハウを世界展開 石井社長

「研削加工におけるEVターゲット情報」をメインに、「脆性材加工への新たな試み」としてJIMTOF2022から受注開始となる製品が先行紹介されるなど、総じて「EV化の中で研削加工の役割が強調された。」

国内営業所における受注台数と受注額成長率(20年度比較伸び率)では、台数で1位が北関東(149%)、金額では1位が大阪(230%)の順。国内における各エリアの前半は、受注が伸び、自動車の関係を含め丸物加工が多い地域の特長がよく表れている。

シリース別の国内受注額で突出しているのがPRG(ロータリー平面研削盤)で354%、セラミックス向けの堅調さが表れている。UGM(複合研削盤)HPG(成形研削

盤)では複合化による高精度加工のニーズや電子金型関連の好調さもうかがえる。22年度は前年同様に景気回復傾向と予想。業種としては全体的に回復基調であるが、特に半導体関連製造装置・EV関連が継続して受注を牽引すると思われ、円形超精密研削盤の受注獲得を目指す。さらに、SDG&関連を見据えた環境対応・省人化等の付加価値製品の提案を行っていく。前年同様、各種補助金・税制補助関係がユーザー設備投資を後押しする。当社研削盤の強みであるセラミックス・金型業界の回復傾向によりさらなるPRGを行う。また、JIMTOF2022に向けた新製品開発を行っていく。